

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度 第3回 所沢市下水道事業運営審議会
開 催 日 時	平成24年2月1日(水) 午後1時30分 から 午後3時30分
開 催 場 所	市役所 3階 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	石井三平、岩岡勤、岩田純治、河本令子、木下登美子、高木健毅、 富宇賀孝、細井義公、松本勇、道又正秀、森田勝治、矢倉幸子 (50音順)
欠 席 者 の 氏 名	恵小百合、吉川正信 (50音順)
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業について(答申)(案)
会 議 資 料	・平成23年度所沢市下水道事業運営審議会次第 ・第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業について(答申)(案)
担 当 部 課 名	下水道部 下水道総務課 (電話:04-2998-9213) 出 席 者 下 水 道 部 : 粕谷不二夫(下水道部長) 森田菊夫(下水道部次長)、 下水道総務課:北田克(課長)、当麻靖男(主幹)、石原広幸(主査)、 砂川知子(主査)、井上直樹(主査) 下水道建設課:鈴木久夫(課長) 下水道維持課:中村誠(課長)、半田俊光(主幹)

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>司会 石原主査</p>	<p>《第3回所沢市下水道事業運営審議会》</p> <p>(1) 開会 (2) 会長挨拶 (3) 会議成立の確認 (4) 第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業について（答申）（案）について</p>
<p>石井会長</p>	<p>それでは議事を始めます。 前回の会議で委員の皆様から出ました意見をまとめて答申案を作り、お配りしました。この案について、事務局より読み上げてください。</p>
<p>北田下水道総務課長</p>	<p>答申案の朗読 平成24年2月1日 所沢市長藤本正人様 所沢市下水道事業運営審議会 会長石井三平 第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業について（答申）（案） 平成23年11月22日付け、所下総第183号により諮問のありました標記の件について審議を重ねた結果、別紙のと通りの結論に達しましたので、ここに答申いたします。 第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業について（答申）（案） 本審議会は、平成23年11月22日に「第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業について」の諮問を受け、3回にわたり会議を開き、諮問について審議した。 下水道は、健康で快適な居住空間を形成するために、市民生活に欠くことのできない施設であるとともに、公衆衛生の向上に寄与し、河川など公共用水域の水質保全のためにも重要な施設である。 また、市街化調整区域の住民からも下水道整備の早期実現を強く求められている。 第3期以降の市街化調整区域下水道整備事業については、平成22年度に実施された事業仕分けの結果、総合的に見直す必要が出てきた。さらに、合流式下水道緊急改善事業などの複数の緊急的な事業が創設され、並行して事業を進めなければならない状況となった。 こうした状況の中、厳しい財政状況下において第3期以降の市街化調整区域下水道整備事業を実施するにあたっては、事業費の増加が見込まれることから、財源の確保が極めて重要な課題となる。</p>

<p>石井会長</p>	<p>このことから、今後の市街化調整区域の下水道整備のあり方と今後の下水道事業の進め方については、市全体の財政状況にも配慮して事業の優先順位を決定する必要がある。以上の点を踏まえて次の結論に達したものである。</p> <p>(結論)</p> <p>第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業については、実施するものとする。ただし、緊急に実施しなければならない合流式下水道緊急改善事業等を優先し、事業を2年先延ばし、平成27年度から実施することが適当である。</p> <p>(理由)</p> <p>第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業の実施については、平成22年度の事業仕分けにより見直すこととした。この結果を踏まえ、下水道整備の実施の可否についてその必要性や整備手法の有効性を検証し決定することが必要である。</p> <p>また社会経済状況の厳しい中で、他の下水道事業と並行して事業を推進していくためには、財源確保が重要であり、市全体の財政状況にも配慮し、事業の優先度を決定し判断するのが適当である。</p> <p>このため、下水道整備の実施については生活排水処理の手法比較による有効性の検証がなされ、事業の優先度については下水道事業の各事業費の比較を行い、緊急に実施しなければならない事業の概要や平成29年度までの事業費及び財源の状況について検証がなされた。</p> <p>今後の市街化調整区域の下水道整備については、平成22年度に作成された所沢市生活排水処理基本計画において、公共下水道が最も有効な手法であることや市街化調整区域の市民から強い要望があることなどから、引き続き実施していくことが適当である。</p> <p>また今後効率的かつ確実に事業を推進していくためには、合流式下水道緊急改善事業などの緊急性の高い事業を優先せざるを得ず、第1次市街化調整区域下水道整備計画における第3期以降の事業を2年先延ばして、事業費の平準化を図ることが適当であるという結論に至った。</p> <p>なお、下水道の整備には多額の事業費を必要とするため、厳しい財政状況において財源の確保が重要であり、国庫補助金の積極的な活用と自主財源である受益者負担金の重要性を認識し、負担の公平性を図りつつ、第3期以降の市街化調整区域の整備が早期に実現できるよう要望する。</p> <p>事務局に朗読してもらいました答申案について、委員の皆様から意見を頂戴したいと思います。内容をみていただき、意見を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
-------------	--

松本委員	合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業、下水道長寿命化対策事業と緊急的な事業が3つあったと思います。今回はわかりやすくという意味なのか、合流式下水道緊急改善事業だけを取り上げているのですが、市民の方が見たときに3つの理由があったほうがいいような気がします。いかがでしょうか。
石井会長	結論のところの下から2行目、「合流式下水道緊急改善事業等」として3つをまとめていますが、一般の方には3つの事業を列記したほうがわかりやすいのでは、と松本委員から意見が出ました。 委員の皆さん、いかがでしょうか。
富宇賀委員	そのほうがよいと思います。
岩岡委員	一般の方はそのほうがわかりやすいでしょう。
松本委員	中段もそうですね。
石井会長	おおかたの委員が3つの事業名を列記したほうがわかりやすいということですので、3つの事業名を載せるという方向でよろしいですか。 岩岡さん、よろしいですか。
岩岡委員	はい。私もそう思います。
石井会長	「等」でまとめてあるところは3つの事業名を入れることにしたいと思います。
委員全員	賛成
矢倉委員	直す箇所はどこですか。
石井会長	直す箇所を最初から確認しましょう。
河本副会長	中段あたりの「第3期以降」のくりですね。
石井会長	中段の「第3期以降の市街化調整区域の…」というところから3行目、「さらに、合流式下水道緊急改善事業など」、ここはひらがなの「など」が入っていますので、この部分に3つの事業を入れるということです。 それと(結論)の下から2行目「合流式下水道緊急改善事業等」、これは漢字で「等」が入っていますので、ここも3つ入れることになると思います。

	<p>(理由)の下から10行目「また」、から次の行、「合流式下水道緊急改善事業など」の「など」のところでは。</p>
細井委員	<p>3つの事業を並べた場合、緊急性の高い順位はどうなっていますか。</p>
石井会長	<p>事務局としては、3つの事業の緊急性の高い順位はどうなりますか。</p>
森田下水道部次長	<p>合流式下水道緊急改善事業が平成25年度まで、下水道総合地震対策事業は平成29年度までに行わなければならないと法律で決まっています。下水道長寿命化対策事業は期限が無く、古くなったものから順に更生していくこととなります。</p> <p>最も緊急性が高いものは合流式下水道緊急改善事業です。</p>
石井会長	<p>事務局で、3つの事業について、緊急性の高い順に並べていただけませんか。</p>
森田下水道部次長	<p>緊急性が高いものから合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業、下水道長寿命化対策事業となります。</p>
細井委員	<p>今の話だと緊急性の高いものと継続的に実施するものと2種類あることとなりますね。</p>
細井委員	<p>下水道長寿命化対策事業は緊急なものか、継続的に進めていくものかどちらになるのでしょうか。</p>
森田下水道部次長	<p>これから継続的に進めていく事業です。</p>
細井委員	<p>合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業は緊急性を要するもので、下水道長寿命化対策事業は継続的に実施しなければならないものということですか。</p>
森田下水道部次長	<p>そのとおりです。</p>
石井会長	<p>言葉を分けたほうがいいですか。</p>
細井委員	<p>緊急性という言葉を入れるとすれば下水道長寿命化対策事業は違いますね。</p>

細井委員	<p>文言は多くなるけれども明確にしておいたほうが後々わかりやすいと思います。</p>
石井会長	<p>この審議会に関係の無い方が文章を見たときに理解しやすいようにつくりましょう。</p>
細井委員	<p>「また今後効率的かつ確実に事業を推進していくためには、」の前に事業名を明記したうえで「緊急性の高い事業を優先せざるを得ず、」を持ってきたらどうでしょうか。</p>
石井会長	<p>合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業の2事業は緊急性を要するものにして差し支えないですか。</p>
細井委員	<p>そうですね。</p>
河本副会長	<p>緊急性の高い合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業と長期にわたる下水道長寿命化対策事業となりますね。</p>
中村下水道維持課長	<p>確かに合流式下水道緊急改善事業が1番高く、次は下水道総合地震対策事業です。下水道総合地震対策事業は平成22年度から平成29年度までとなっていますが、それは短期・中期・長期とあるうちの短期の事業で市役所を中心とした主要幹線、緊急輸送道路、軌道下などを行います。これらが位置する旧町地区と新所沢地区の長寿命化対策は、緊急性が高いものと思います。その後も中期・長期とあるため、工事は引き続き行っていきます。</p>
細井委員	<p>3つの事業を並べて「緊急かつ継続的に」といった両方の文言を使えばよいと思います。</p>
中村下水道維持課長	<p>そのとおりです。そのほうがよいと思います。</p>
細井委員	<p>市街化調整区域の下水道整備を遅らさなければならない課題を明確に示さないといけないでしょうから、この事業とこの事業は緊急性や継続性があるので、遅らさなければならないと言ったほうがよいでしょうね。</p>
中村下水道維持課長	<p>それがよいと思います。</p>

石井会長	とりあえず合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業、下水道長寿命化対策事業の3つの事業名を入れましょう。
河本副会長	「合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業、下水道長寿命化対策事業の緊急性かつ継続性の高い事業を優先せざるを得ない」ということですね。
石井会長	事務局は3つの事業を並べるところがわかりますか。
森田下水道部次長	「緊急的かつ継続的に進める合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業、下水道長寿命化対策事業の複数の」とすればよろしいでしょうか。
河本副会長	「推進をしていくためには」の後に3つの事業を入れて、先ほど細井委員からあったように「の、緊急性かつ継続性の高い事業を優先せざるを得ず」をつなげればよいと思います。余計な文言を入れないほうがわかりやすいと思います。
矢倉委員	まとめていただいたほうがよいですね。
石井会長	そうですね。休憩をとり、その間に事務局と文章をまとめましょう。ほかにみなさん、何かありますか。
矢倉委員	小さいことですが、(理由)の下から7行目の「2年先延ばし」の「し」が1つ足りません。
松本委員	最後の「要望する」という表現は諮問を受けた側が要望するのは違う気がします。
細井委員	提言、あるいは諮らねたい、あるいは努められたいという文言にしないと、諮問に対して答申が要望になってしまいます。「早期に実現できるよう努められたい」としたほうがよいですね。
河本副会長	要望を受けて会議を行っているので「要望する」はおかしいですね。
細井委員	最後の「なお、」は前段から後段の要望みたいな形を受けて言っているのは確かですが。

河本副会長	一応、前段で「結論に至った。」と区切ってありますね。
岩田委員	(理由)の中段あたりの「公共下水道が最も有効な手法であること」と書いてありますが、もう少し具体的に経済性・コストのほか、いろいろな面で最も有効な手法であると書いた方がインパクトがあると思います。
石井会長	合併処理との比較を具体的に文章にしたほうがよいということですか。
岩田委員	はい。私はそう思います。
石井会長	岩田委員から具体的に合併との比較を言葉にして入れたほうがよいというご意見ですが、いかがですか。
細井委員	最も有効な手法という文言の意図する意味を確認したほうがよいと思います。
石井会長	最も有効な手法という文言の意図する意味について事務局から説明してもらえますか。
粕谷下水道部長	他の手法を具体的に入れるかどうかは別として「公共下水道が他の手法との費用比較において、最も有効であることや、」としてはいかがでしょうか。
石井会長	もう一度言ってもらえますか。
粕谷下水道部長	「公共下水道が他の手法との費用比較において、最も有効であることや、」です。
石井会長	他の手法とは何ですか。
粕谷下水道部長	農業集落排水や合併浄化槽のことです。
岩岡委員	費用だけではなく水質保全など環境保全の面からも有効という結論も出ていませんでしたか。
粕谷下水道部長	生活排水基本処理計画では最終的に全地区で費用比較において有効です。
岩岡委員	費用だけですか。

粕谷下水道部長	確かに水質保全、環境保全の面もありますが、最終的にスケールメリット、費用比較の検証でした。
岩岡委員	環境保全の面から言っても有効だと私は認識しているのですが。
富宇賀委員	11月22日、第1回目の当審議会の時に配られた諮問概要の3番、諮問の要旨のなかで「生活排水の処理にあたっては、公共用水域の水質保全、快適な市民生活の確保等の観点から、下水道によることが最も有効な手法とされており、また、費用面においても」と書いてあります。だから水質保全と費用面の2つを言っています。
粕谷下水道部長	答申案の(理由)のなかでは前段として「所沢市生活排水基本処理計画において」とありますので費用比較のことです。公共下水道そのものから言うと確かに富宇賀委員の言われているように水質面、環境面でもかなり有効であるということになります。
岩岡委員	それを入れたほうが、下水道整備を進めることについて、強く訴えられると思います。
富宇賀委員	費用面と水質保全、快適な市民生活の確保などと両方で言ったほうが、市民としてはわかりやすいと思います。
石井会長	ご意見が出ていますが、いかがでしょうか。もう一度文章を言っていただけますか。
富宇賀委員	「水質保全、快適な市民生活の確保、もう一方では費用面においても、浄化槽等と比較した場合、下水道の有利性が検証されている」と入れたらどうでしょうか。
石井会長	その文章を入れていただきたいということですね。
富宇賀委員	はい。諮問概要から抜粋して入れてもいいのではないかと思います。
矢倉委員	一般の方を対象に考えて文章を作っていかなければいけないので、今の言葉を入れたほうがいいですね。そのほうが一般の方はわかりやすいと思います。
石井会長	やはり一般の方にわかりやすく文言を追加していくという意見が出ていますのでその方向でいきましょう。

	<p>いくつか意見が出ましたのでここで休憩を取って事務局と文章の調整をします。再開後、まとまったものを文章にして皆さんに確認をしていただくことにしましょう。</p> <p>( 休憩を取り、会長、副会長、事務局で聴収した意見を集約し、答申案を修正する。 )</p>
石井会長	<p>再開します。皆様から出された意見を文章に入れ込みをさせていただきました。直した部分を事務局で朗読してもらえますか。</p>
北田下水道総務課長	<p>下線部の修正箇所について説明します。一枚目中段の「さらに」以降ですが、先程指摘がありました「合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業及び下水道長寿命化対策事業といった緊急に実施すべき事業が創設され」に文言を訂正しました。</p> <p>次に「結論」の下から三行目、「ただし、緊急に実施しなければならない合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業及び下水道長寿命化対策事業を優先し、」という形になりました。そのあと「事業を2年先延ばしして」と「して」を追加しています。</p> <p>( 下水道長寿命化対策事業に係る「継続的」の文言は、2年間先延ばしする要因にあたらないことから、正副会長と事務局の協議の結果、答申書には記載しないこととなった。 )</p> <p>2ページ目、(理由)の中段になります。「今後の市街化調整区域の下水道整備については、公共用水域の水質保全と快適な市民生活の確保等の観点から、下水道が最も有効な手法とされている。また、平成22年度に作成された所沢市生活排水処理基本計画においても、公共下水道が他の手法との費用比較において最も優位であることが検証されている。さらに、市街化調整区域の市民から強い要望があることなどから引き続き実施していくことが適当である。」という文言に変えました。</p> <p>次に「また今後効率的かつ確実に事業を推進していくためには、合流式下水道緊急改善事業、下水道総合地震対策事業及び下水道長寿命化対策事業といった」という文言を加えました。その2行下ですが、先程もありましたが、「事業を2年先延ばしして」と「して」を追加してあります。最後になお書きのところですが、前は「要望する」という表現でしたが、「早期に実現できるよう努められたい」という表現に変更しています。</p>
石井会長	<p>今、事務局に訂正箇所について朗読してもらいましたが、いかがでしょうか。よろしいですか。</p>

委員全員	賛成
石井会長	委員の皆様の総意ということで、この答申案で決定してよろしいですか。
委員全員	賛成
石井会長	ではこの案で決定をします。ありがとうございました。答申が決まりましたので、この文面で市長へ答申を申し上げることとします。事務局から何かありますか。
北田下水道総務課長	ありがとうございました。昨年の11月22日から3回に渡り、ご審議をいただき答申がまとまりましたので、明日2月2日に市長に渡したいと考えております。会長と副会長のお2人をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
石井会長	事務局から、明日2月2日に本日まとりました答申を私と河本副会長から市長にお渡しする予定であるとお話がありましたが、私と河本副会長に一任していただいてよろしいですか。
委員全員	賛成
石井会長	一任いただきましたので、明日、市長へ渡して参ります。 それでは本日の会議次第(2)のその他についてですが、会議の冒頭で司会の方からお知らせがありましたが、下水道事業に対する委員の皆様のお考えや思いなど忌憚のないご意見を伺いたいと思います。まず、本日欠席の吉川委員と恵委員から文書によりご意見をいただいておりますので、事務局より意見書の配布をします。参考にしてください。  (2委員の意見書を配布する。)
石井会長	時間の都合がありますので、2人の意見書はのちほど確認してください。 それでは下水道事業に対する委員の皆様のお考えや思いなど忌憚のないご意見を伺いたいと思います。岩岡委員から順にお願いいたします。
岩岡委員	私は山口の市街化調整区域に住んでいます。市街化調整区域の住民として委員に応募しました。市街化調整区域の下水道整備計画が延期とはいえ継続されるということでホッとしているところです。ひとつだけ意見があります。下水道整備を進めるにあたって負担の公平性を図るうえで受益者負担金は重要ですが、前回の審議会で市街化調整区域の受益者負担金が1平方メー

<p>富宇賀委員</p>	<p>トルあたり1,000円で、その内訳に都市計画税分の591円が含まれていると聞きました。市街化調整区域の住民にとっては35年位待たさていたうえに上乘せがあるのはおかしいのではないかと考えております。</p> <p>私は和ヶ原1丁目の市街化区域に住んでいます。今回の市街化調整区域の下水道事業を進めるかどうかで応募して参加しました。今回の皆様のご意見で、2年遅れではありますが市街化調整区域の下水道事業計画を推進すると決まってよかったと思います。私のまわりの三ヶ島の方はほとんど市街化調整区域になっています。その方たちといろいろ親しく交流があり、自分は市街化区域だから良いと言われるわけです。市街化調整区域だから我慢してくれよとは言えません。確かに市街化調整区域に住んでいる方は自然に恵まれているところで生活していますが、健康で文化的な生活を営む権利はみな平等にありますので、上流区域で工事が大変で費用もかかるということですが、少しずつでも進めていきたいと思います。それから岩岡委員が言われた市街化調整区域の受益者負担金ですが、入間市や川越市の受益者負担金がどうなっているのかも参考にして検討したらよいと思います。</p>
<p>岩田委員</p>	<p>私も委員として公募しました。中富南の市街化区域に住んでおります。市街化調整区域の下水道事業に対して意見を述べよということなので、私の意見は将来的な話ですが、少子高齢化で人口も減る、市街化調整区域に住んでいる方は農業をやっている方も多いと思いますが、後継者不足という状況で所沢市の税収も増えないと考えれば、市街化調整区域は下水道事業といったお金のかかるインフラ設備はやめて中心的なところに下水道事業を集中する方がよいのではないかと思います。仮に市街化調整区域まで伸ばした場合、将来は維持管理などでかなりお金がかかってきます。全体的、将来的には所沢市として設備等も集約して効率的にやるべき段階に今来るのではないかと考えています。今回の第1次市街化調整区域における答申には賛成しておりますが、第2次・第3次のときにはやはり考えるべき問題だと思っています。総合的な判断から、これ以上市街化調整区域の下水道事業をやるべきかどうかについては疑問に思います。</p>
<p>森田委員</p>	<p>市街化調整区域に住んでいます。地元で 柳瀬川上流をきれいにする会で活動していますが、いくらきれいにしても各家庭からの雑排水をその川に流しているわけです。県がその事業に対して多少助成金を出したりしているのになぜ所沢市はそのような事業を積極的に県と一緒にやらないのでしょうか。河川との関係と下水道との関係は違うと言われればそれまでですが、下水を川に流しているわけです。ただパイプを入れるだけの事業ではなく、そういう事業も幅広く拡大していけばよいのかなと思っています。きれいにすることでモデル地域、観光都市にするとか環境のよい所沢市にしていくなど違った角度</p>

<p>矢倉委員</p>	<p>から検討していくことも必要なのかと思います。</p> <p>所沢市の下水道普及率は92パーセントというのは全国的にみても大変高レベルだと思っています。以前聞いたところでは7位くらいでした。普及率からいけばすばらしい都市だと思います。ただ、今回審議会委員のお誘いを受けた時に読みましたが、事業仕分けで永遠に事業の拡大を目指すべきでないという言葉を見たときに驚きました。将来、子どもが住んでよかった所沢・住み続けたい所沢という街づくりのためには、希望を失うようなことのないように夢を描きながら、また将来、少子化時代でもすばらしい所沢が自分の故郷だよといえるような若者がどんどん街を大きくしてくれればということからいけば、こういう事業仕分けがあったことは本当に驚きました。その中で市は前向きに考えてくれたことはとても嬉しく思います。2年遅れはあるけれど1日でも早く100パーセントに近づく努力をしていただければありがたいと思います。</p>
<p>高木委員</p>	<p>自治連から出席しました。答申のメンバーに入ったことにありがたく大変勉強になりました。下水道整備は非常に金もかかるが皆さんの要望も大きいようです。私は市街化区域で下水道は常整備されていますが、所沢駅東口で区画整理をしようとしている逆線引きの地域ではこれから下水道の問題が出ると思います。下水道を早く整備してくれよと言われています。この答申で2年後に実施することになったので、それに沿って進めてもらいたいと思います。</p>
<p>木下委員</p>	<p>婦人会から推薦されてきました。私の住んでいるところが元町なので下水道のことを考えたことがありませんでした。すごく勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>道又委員</p>	<p>私も自治連から推薦されてきました。古い所沢市の中心市街地に住んでいます。市街化調整区域に住んでおられる方は下水道で大変な思いをしていることがわかりました。逆に中心部は3つの事業の中の老朽化の部類に入ってきているのかなと思います。老朽化対策のところではアスファルトとかゲリラ豪雨の問題がありますので、下水管を取り換えるときは太いものを入れていただきたいなと思います。</p>
<p>松本委員</p>	<p>私も自治連から推薦されてきました。私は昭和42年から小手指元町に住んでいます。当時は下水道がありませんでした。吸い込みで自然浸透させ、2・3年で使えなくなり大変苦労した経験があります。住民がお金を出し合って下水道を完成させました。これは大変喜ばれました。上水道があれば下水道があるのは当たり前だと思います。それが無い街づくりは考えられません。市街</p>

<p>細井委員</p>	<p>化調整区域の方が待ち望んでいる下水道事業は必要と考えます。</p> <p>いちばんの問題は予算だと思います。このような経済情勢の中ですから、岩田さんの言われたような考え方も当然出てきます。この会議は下水道問題に特化してやっているから当然担当部の下水道を推進していきたい意気込みは十分組み取れたわけです。ただ市全体のこれからの予算を鑑みると、福祉と下水道のどちらを優先するかという大きな課題も当然出てきます。事業仕分けも今の社会情勢からすれば仕方がないのかなという擁護する部分はあります。</p> <p>下水道に関しては長年ご苦勞をしている方を考えれば当然1日でも早く普及させるべきだろうと今回の審議会で皆さんの考え方も集約されたと思います。</p> <p>平成24年度の予算状況も厳しいと思います。これからもどう変化してくるかわかりませんので、机上の文言だけでなく、どういうふうに早期に対処できるか先読みする考えを持ってやっていただければと思います。今日の会議での皆さんのいろいろな考えも十分理解できました。</p>
<p>石井会長</p>	<p>貴重な意見をありがとうございました。私も市街化区域狭山ヶ丘に住んでいます。初めは市の下水道は整備ができませんでした。それで個人個人が浄化槽でやっていましたから、その排水をどうにかしたいと自分たちでお金を出して組合を作って管渠を全部埋めて排水をしたというのが最初の下水道でした。その後、市に下水道を本格的に分流式にさせていただき、雨水管に切り替えをしていただきました。所沢市は確かに普及率は向上していますが、三ヶ島の方は財政的に早急な整備は難しいのかなと思いました。</p>
<p>北田下水道総務課長</p>	<p>委員の皆様の大変貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の下水道事業を進めるにあたって参考にさせていただきます。</p>
<p>石井会長</p>	<p>各委員のご協力をいただき、第3回下水道事業運営審議会議事も滞りなく終了しました。委員の皆様には3回に渡り慎重にご審議いただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。これで議長の職を解かさせていただきます。それでは事務局にお返しします。</p>
<p>粕谷下水道部長</p>	<p>石井会長、委員の皆様、3回にわたる活発なご発言、また本日の皆様の下水道に関するお考え・ご意見ありがとうございました。明日の答申をもってこの審議会も終了となります。いずれにいたしましても厳しい財政状況・経済状況が続くわけですが、本日伺ったご意見等をしっかりと受けとめさせていただきます。今後の下水道整備事業について一生懸命進めてまいりたいと思います。</p>

	<p>また、委員の皆様におかれましては、引き続き下水道整備事業に対しまして、ご指導ご協力をいただきますようお願いをいたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>
--	---

本会議録は、平成24年2月1日に開催された所沢市下水道事業運営審議会の会議録であることを確認し、会議録の確定について承認いたします。

平成 年 月 日

所沢市下水道事業運営審議会 会長 印

委員 印

委員 印